

7/4 健康公開講座

「身近ながんのお話-おなか編-」質問回答

Q1 在宅ポンプは患者さんは嫌がらないのか。装着率は。

【回答】

在宅ポンプを初めて使用される時は、皆さんが不安な気持ちだと言われます。実際に家で過ごしてみても緊張はされるようですが、入院で拘束されることがなく自宅で自由に過ごせるので良いという感想を聞きます。途中から、入院治療に変更される方もいらっしゃいますが、在宅用ポンプの使用が嫌というよりは、副作用が強くなり入院治療になっています。

諸事情で通院治療が難しい方は、最初から入院治療を繰り返し継続されますので、装着率を出すのは難しいです。

Q2 ピロリ菌が現在は陰性でも今後感染する可能性があるのか。

【回答】

ピロリ菌感染者の多くは幼少期に感染し、そのまま大人まで持続しているケースです。大人になってから感染することもあります。頻度はかなり低く、年間0.2-0.8%という報告があります。感染することはありませんが、可能性は低いものと思われます。